

No.21

令和8年3月市議会定例会

施政方針（要旨）

本日ここに、3月市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員皆様には御健勝にて御参会を賜り、令和8年度の予算案を始め、市政の重要案件につきまして御審議をいただけますことは、市政進展にとりまして誠に喜ばしく、感謝を申し上げます。

市政は、おおむね順調に推移しておりますが、このことは、議員皆様の御指導と市民皆様の御理解、御協力によるものと、心から感謝するものでございます。

開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営の基本的な考え方と令和8年度予算の概要などにつきまして申し上げます。

I 市政運営に当たって

昨年10月の市長選挙におきましては、市民の皆様から御信任をいただき、引き続き熊谷市長として市政の舵取りを担わせていただくことになりました。

私は、4年前に「新熊谷プライドの創造」を政策理念として、7つの基本政策を掲げ、市民の皆様が笑顔で、誇れるまち熊谷の実現に向けて、喫緊に取り組まなければならない課題は何か、本市が将来に渡って発展を遂げていくためには、今、何をすべきかを常に念頭に置き、本市の発展はもとより、県北地域や群馬県東毛地域をも視野に入れながら、この地域を牽引する中心都市へと飛躍させるための様々な施策の種を撒いてまいりました。

こうした4年間の取組に対しまして、多くの市民の皆様から御信任をいただくことができ、改めて、その期待の大きさと責任の

重さを痛感するとともに、市民の皆様とお約束をした施策の一つ一つを、確かな実りへと育てていかなければならないとの「決意」と「覚悟」を、より一層強くしたところです。

私が市長2期目の政策理念として掲げた「新熊谷ブランドの創造」は、熊谷で暮らすことの価値を実感し、市内外に誇れる熊谷の実現のため、北部地域振興交流拠点施設や利根川新橋の整備といった都市機能を強化・充実させるための施策を始め、デジタル技術を活用した市民生活の利便性を向上させる施策のほか、本市の未来を担う子どもたちが健やかに育ち、誰もが安心して産み育てられる環境を充実させる施策を体系化したものです。これらを確実に形にしていくことで、子どもたちが未来に希望を持ち、笑顔で暮らせるまちへと発展させていきたいとの想いを込めたものでございます。

国政に目を向けますと、去る2月8日の衆議院議員総選挙において、与党が3分の2を超える議席を確保し、今月18日に召集された第221回特別国会で高市早苗氏が105代首相に選出され、第二次高市内閣が発足しました。

今後、国会では、消費税減税や給付付き税額控除などの税制改正を始め、積極財政による様々な施策が議論されることになり、こうした施策の実施や制度改正等により、本市の市政や財政運営にも大きな影響が生じることが見込まれます。

令和8年度予算は、私にとって市長2期目の政策実現に向けた第一歩となる大事な予算になります。そのため、これまで以上に

国の動向に注視をしながら、国政の流れに適切かつ迅速に対応してまいりますとともに、私が掲げた各施策を進めるに当たりましては、本市のまちづくりの指針である総合振興計画との調和も図りながら、限られた財源を有効に活用し、私の持てる知識や経験、情熱の全てを政策の実現のために注いでまいりますので、議員皆様、市民の皆様には、一層の御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

Ⅱ 令和8年度当初予算案の概要

それでは、令和8年度当初予算案の概要につきまして申し上げます。

初めに予算規模でございますが、一般会計は803億円で、対前年度比0.75%、額にして6億円の増となり、過去最大の予算総額といたしました。

これは、子育て支援・保健拠点施設の整備が今年度末に完了し、その整備費が減額となるものの、長引く物価高騰に伴う資材費や人件費の上昇などによる避けがたい歳出の増加や、少子高齢化を起因とする社会保障費の増大に対応するための予算措置を始め、子育て家庭が安心して子どもを産み育てられ、子どもたちが健やかに成長できる地域社会の実現に向け、必要な施策に重点配分を行ったほか、熊谷の未来のまちづくりにおいて、重要な拠点となる北部地域振興交流拠点施設や、第2中央生涯活動センター、池上地区の道の駅などの施設整備に係る事業に積極的に予算を配分

したことによるものでございます。

また、引き続き、地域の活性化に資する施策や、市民の皆様からの要望に応えられるよう、安心・安全・健康・福祉・環境・教育など、市民生活に直結する事業や行政課題に積極的に取り組むための予算編成としたところでございます。

特別会計は、4会計を合計して249億6,900万円、対前年比6.05%、額にして14億2,500万円の増となっております。

公営企業会計では、水道事業会計が87億8,800万円、対前年度比2.13%、額にして1億8,300万円の増、また、下水道事業会計は80億7,500万円、対前年度比3.37%、額にして2億6,300万円の増となっております。

これら全ての会計の総計は1,221億3,200万円で対前年度比2.07%、額にして24億7,100万円の増となったものでございます。

さらに、これに国の補正予算における物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する事業のほか、小学校の校舎大規模改造事業に9億1,000万円、小中学校体育館空調整備事業に11億7,500万円を3月補正予算へそれぞれ計上いたしました。

これらの事業は令和8年度に繰り越して実施いたしますので、この額を当初予算と合わせますと、一般会計の実質的な予算規模は、更に大きくなるものでございます。

なお、当初予算の編成に当たりましては、市民の皆様からお預

かりした貴重な税金が財源となっていることを常に念頭に置き、真に市民生活に資するものや市民ニーズに即応する取組に予算を配分するという方針の下、より一層の創意工夫を凝らして、行政サービスの効率性と満足度を高めながら、引き続き健全財政を維持してまいります。

続きまして、来年度予算の主な事業でございますが、まず、物価高騰対策について御説明申し上げます。

その後、総合振興計画基本計画のリーディング・プロジェクト及び計画の基本となる施策の大綱に基づきまして、新たな取組を中心に主な事業を御説明申し上げますとともに、3月補正予算に前倒しをして計上しております事業につきましても、併せて御説明をいたします。

【物価高騰対策】

初めに「物価高騰対策」の主な事業について申し上げます。

「水道料金の軽減」は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、長引く物価高騰により影響を受けている市民及び事業者の経済的な負担軽減を図るため、水道料金の基本料金について、減免等の措置を行うものでございます。

なお、この「物価高騰対策」につきましては、このほかにも地域公共交通事業者を始め、中小企業者や農業者等に対する支援を行うための予算を令和7年度3月補正予算に計上し、令和8年度

に繰り越して実施してまいりたいと考えております。

【リーディング・プロジェクト】

次に『リーディング・プロジェクト』の主な事業について、申し上げます。

まず、「親子の笑顔が輝くまち創り」に関する事業ですが、児童館と児童クラブを併設した「こども館」を始め、市内の4つの公立保育所を統合した「中央保育所」のほか、妊娠期から成人期までの保健指導や健診などを包括的に行う「保健センター」、休日や夜間の初期救急医療を担う「休日・夜間急患診療所」、これらを集約した、子育て支援・保健拠点施設「くまキッズ」が、4月にいよいよオープンいたします。

これにより市民の健康保持・増進に係る事業の促進を図るとともに、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うことで、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実を図るものでございます。

「小学校・中学校体育館空調設備整備事業」は、児童・生徒の教育環境の充実を図るとともに、災害時の避難所としての環境を改善するもので、計画的に学校体育館の空調整備と断熱工事を行うものでございます。

次の「次世代のための公共施設マネジメント」に関する事業ですが、「北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業」は、県との共同事業になりますが、北部地域振興交流拠点施設と市庁舎の

整備に向け、要求水準書や実施方針などの作成を行うとともに、新庁舎の移転に向けたオフィス空間の実証実験や行政文書の電子化などを進めるものでございます。

「（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業」は、個別施設計画に基づいて、市民活動支援センターやコミュニティセンター、勤労青少年ホームなどの施設を集約し、世代や活動分野を超えて、様々な人々が「集まり」、「出会う」交流の拠点として整備するもので、令和9年10月のオープンに向け、引き続き建設工事を行うものでございます。

次に「スマートシティに関する事業」ですが、「保育業務電子化事業」は、保育所等の入所申請をオンラインで手続きができる環境を整備することにより、保護者の入所手続きに係る負担軽減とともに、入所審査業務等の事務の効率化を図るものでございます。

【スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち】

次に『スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「荻野吟子知名度向上事業」は、日本の医療の歴史において、女性医師の道を切り開き、埼玉ゆかりの三偉人の一人である荻野吟子の功績を顕彰し、更なる知名度向上を図るため、荻野吟子とつながりのある自治体や団体と協力し、パネル展やシンポジウムなどを実施するものでございます。

【健康で安全・安心に暮らせるまち】

次に『健康で安全・安心に暮らせるまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「歯科保健事業」は、歯科検診の対象に新たに25歳と35歳を加えることで、5歳刻みの歯科検診の機会を確保し、生涯を通じて歯と口腔に関する健康づくりを推進するものでございます。

「九都縣市合同防災訓練実施事業」は、首都直下地震等の大規模災害時における連携協力体制の充実と強化を図るとともに、住民一人一人の防災知識の向上や減災への取組を促進するため、埼玉県との共同による実践的な防災訓練を実施するものでございます。

【人にやさしい思いやりのあるまち】

次に『人にやさしい思いやりのあるまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「全国健康福祉祭開催事業」は、60歳以上の高齢者を中心とするスポーツや文化等の祭典である「ねんりんピック」が埼玉県内各地で開催されるもので、本市では、熊谷スポーツ文化公園において、県主催による総合開会式のほか、ソフトテニスとラグビーの大会が行われますので、県への協力に加え、競技運営や大会PRを通じて、健康寿命の延伸や生きがいづくりを支援するとともに、全国からの交流人口増加を目指すものでございます。

「不妊治療費助成事業」は、不妊治療を受けている夫婦に対し

て、これまでの治療費に対する助成に加え、新たに通院に係る交通費の一部を助成することで、治療を受けやすい環境を整備するものでございます。

【環境にやさしく自然が豊かなまち】

次に『環境にやさしく自然が豊かなまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「アライグマ・ハクビシン防除事業」は、アライグマやハクビシンの家屋への侵入被害を防止するため、防除に係る費用の一部を補助しておりますが、家屋所有者が市外在住であっても補助が受けられるようにすることで、被害の拡大を防ぐものでございます。

【人が集い活力のある産業が育つまち】

次に『人が集い活力ある産業が育つまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「熊谷ブランド「晴れまち」認定品開発促進事業」は、ブランド認証制度を活用した中小企業者等による新たな製品開発や既存製品の改良を促進するため、開発等に係る経費の一部を補助するものでございます。

「池上地区「道の駅」整備事業」は、令和10年3月のオープンに向け、農産物直売所やフードコートなどが設置される「食の棟」や屋内遊び場を備えた「子どもの棟」などの建設工事を行う

ほか、外周道路を整備するものでございます。

【快適で暮らしやすいまち】

次に『快適で暮らしやすいまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「総合交通体系整備促進事業」は、利便性の高い公共交通ネットワークの形成により市民の移動手段を確保するため、コミュニティバスのほか、妻沼地区において乗合型オンデマンド交通を運行するものでございます。

「荒川かわまちづくり整備事業」は、国と連携して実施するもので、熊谷駅南口エリアにおいて河川空間とまち空間が融合したまちづくりを進めるため、荒川緑地の再整備に向けた詳細設計や社会実験などを行うものでございます。

【地域に根ざした教育・文化のまち】

次に『地域に根ざした教育・文化のまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「防災ノート導入事業」は、児童・生徒が自分の身を自分で守り、助け合うための知識や考え方を学ぶことができる防災ノートを導入し、いざというときに対応する力や生き抜く力を育むものでございます。

「展示品レプリカ作製事業」は、明治時代に上中条地内で出土し、現在、国の重要文化財に指定されている馬形埴輪について、

高精度のレプリカを作製し展示することで、郷土への関心を促すとともに、本市の文化や歴史を広くPRするものでございます。

【市民と行政が協働して創る満足度の高いまち】

次に『市民と行政が協働して創る満足度の高いまち』に位置付ける事業につきまして申し上げます。

「シティプロモーション事業」は、本市の歴史や文化を始め、産業やスポーツなどの地域の魅力を「見つける・創る・磨く」活動やSNS等を活用した市内外への情報発信活動などを官民が連携して展開することで、熊谷市のファンを増やし、熊谷市全体のブランドイメージを高めていくことを目指すものでございます。

続きまして、各特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計の当初予算でございますが、各会計におきまして、それぞれ見込まれます所要の経費を計上いたしております。

以上、令和8年度予算の概要及び主要な事業について御説明申し上げます。

次に、令和7年度補正予算案について申し上げます。

一般会計におきましては、主要な事業の中で御説明いたしました国の臨時交付金等を活用する事業のほか、「小学校校舎大規模改造事業」や「小学校・中学校体育館空調設備整備事業」を前倒して計上し、令和8年度に繰り越して実施するものでございます。

また、保育所等の運営に必要な標準的な単価を定めた公定価格が改定されたことに伴い、保育所等に対する委託料や給付費を計上するほか、各事業費の確定などに伴い関係経費を補正するものでございます。

このほか、一般議案といたしまして、「熊谷市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例」などを御提案申し上げます。

慎重御審議の上、御可決を賜りますようお願いを申し上げます。施政方針及び予算案の概要説明を終わります。

